

平成30年度第2回学校評議員会会議報告（概略）

- 1 期 日：平成31年2月21日（木） 15：00～16：00
  - 2 会 場：本校会議室A
  - 3 出席者：学校評議員4名、PTA役員2名、学校4名（校長、副校長、事務長、教務主任）
  - 4 内 容：学校経営計画総括及び学校自己評価報告書について、  
学校評価、授業評価、進路概況、部活動成績等の資料説明
  - 5 意見及び質疑等
    - A 氏；高大連携とは、どことの連携か  
副校長；富士大学との連携である。講座、実技指導等をいただいている。
    - B 氏；不登校はあるか。  
副校長；1年生に長欠者が1名いる。他の学校に転学予定である。
    - C 氏；先生と生徒、保護者の見方にギャップのあるものがある。理由はどこにあるのか検討が必要である。学校評価の表は、比較しやすく、わかりやすいと感じた。今の子どもは携帯やパソコンから情報を得るので、字を読まないのが気になる。
    - D 氏；「授業のわかりやすさ」は4月から比べて伸びた。原因は何か。互見授業の方法はどのように行っているのか。職員間のベクトルはどのように合わせているのか。  
校 長；「授業の理解しやすさ」は環境が違うことにより数字が違ってくる。12月のアンケートでは質問内容を変えて、新学習指導要領に基づいた質問項目に変えた。互見授業はランダムに行っている。先生方のベクトル合わせは、現実の取り組みの中で具体的な部分を揃えていく。何をやるか整理して提示する必要がある。
    - D 氏；先生方が同じ方向を向いてほしいという姿勢を校長から強く感じた。団結力は部活動にも影響があると思う。先生方のチームワークが良いと結果も付いてくる。今年度入った生徒で、横断歩道を渡った後に、車に会釈する女の子がいる。高校が楽しいから会釈できているのだと感じる。地域にとっても南高校にとっても、いい生徒がいると感じられることは良い。
    - A 氏；学校評価の◎○△の記号が、わかりやすい。探究の時間の成果は数値が見えない部分があると思うが、子どもたちの将来にとって大切なので、これからも大事にしてもらいたい。ほめられればやる気につながることから、先生方を褒めて、生徒を褒めていただき、南高校に行くのが楽しいと生徒たちが思える状況になればますますよいと思う。
    - E 氏；学校評価から先生方で共通理解ができていない部分が心配である。また、「生徒に自信をつけさせている」のところが△であるところが心配である。
    - F 氏；PTA総会の参加の人数が少ないのが気になっている。PTAの参加を促すために工夫が必要である。親が参加する気になる取り組みをお願いしたい。いろいろなアンケートで80%から90%が出ているので、素晴らしいと思う。子どもが楽しく学校に行っていることで全体的に良い評価を得ているのではないかと。高校受験の志願率も気になっていたが、倍率が高いのは、進路多様校であるところが評価されているのではないかと。自営業であるがアルバイトをお願いしたところ、多くの生徒が来てくれた。許可証をしっかりとって、よく社会勉強してくれた。
- 校 長；ご指摘いただいた部分を検討し、生かしていきたい。生徒たちは素直な良い子どもたちである。今後ともご指導いただきたい。